

大学バレーボールチームにおける地域貢献活動について：国内大学の事例からみる「スポルクラブ」における展開の可能性

著者	永谷 稔
雑誌名	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報
巻	10
ページ	125-136
発行年	2019
URL	http://doi.org/10.24794/00003037

大学バレーボールチームにおける地域貢献活動について —国内大学の事例からみる「スポルクラブ」における展開の可能性—

A Study about Community Contribution Activities by the University Volleyball Club —Possibility of Deployment in “SPOR CLUB” seen from Domestic Universities Cases—

永 谷 稔

NAGATANI Minoru

キーワード：大学，バレーボール，地域貢献，国内事例，可能性

I. 緒 言

本年報第7号（永谷，2016）において，バレーボールを通じた学生指導者の地域貢献活動について，近隣市体育館主催による半年間23回に渡る長期間の小学生初心者対象バレーボール教室の指導を行った結果をまとめた。第9号（永谷，2018）においては，クラブチームにおける12歳以下の男子初心者カテゴリー指導に関する，学生指導者とクラブ指導担当者のインタビュー調査結果を報告した。

いずれも，初心者を対象とした指導を選択した背景には，広くは日本国内におけるバレーボール人口の減少が懸念され，それらの一助につなげたいことが挙げられる。中学校体育連盟（中体連）が毎年とりまとめている統計によると，中学校におけるバレーボール人口は明らかに減少傾向にあり，同様に高等学校体育連盟（高体連）においても，同様な傾向である。また，初心者であれば，学生の指導経験を積み重ねていくうえでは，取り掛かりとして適当ではないかということが挙げられた。

しかしながら，第7号での報告のとおり，初心者指導の機会に巡り合いながらも，年齢幅，男女差，運動技能レベル差などが混在したこともあり，決して容易なことではなかった。その結果を受け，第9号での報告のとおり，クラブチームによる有資格で経験豊富な指導者の下，学生は指導補助に入る形にしたことにより，それらの課題はクリアできた。一方では，学生指導者の会場までの移動の問題が大きかったものの，双方にとって有益な結果となった。

学生を指導に付かせるためには，自らの競技経験だけでなく，指導技術を学習し，それを実践する機会がなければならない。本学では，日本スポーツ協会公認の共通科目認定校となっており，資格取得希望者は，卒業時までには最低限の指導者としてのスキルが身に付いていることになるが，あくまで制度上であり，実践の場は非常に少ないと言わざるを得ない。

そこで，北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センタースポーツクラブ，通称「スポルクラブ」では，総合型地域スポーツクラブを当初より運営している。そして，地域住民向けの健康増進・維持を目的としたプログラムや，スポルクラブの前身であった，子どもたちの体操，中高生の体操選手コース活動が実施されている。どちらのプログラムにも現役学生が一部指導に関わるかたちを取っている。これらをベースに，複数種目へ増やしながらかつ，各競技の指導力養成につなげることは出来ないかと考えた。

こうした，大学を拠点とした総合型地域スポーツクラブの展開例は，年々増加傾向にあるといえる。単に大学の地域貢献が求められるようになっただけでなく，社会的資源（ヒト，モノ，情報）が存在（國本，2011）し，学生が主体的に総合型クラブの運営支援へ取り組む営みは，現代GP（文部科学省）にも採用され，大学（学生）と地域（住民）の双方向に交流し合う新たなスポーツ教育活動としても注目されている（行實，2008）。2009（平成21）年3月現在において，大学が拠点・連携している総合型クラブは40クラブあり，うち運営に関わる大学は38校となっている（文科省，2009）。

本報告では，大学バレーボールチームにおける地域貢

献活動について、国内事例からみる「スポルクラブ」における展開の可能性を探るものである。そこで、大学を拠点とする活動において、バレーボール指導に限らず、初心者競技指導事例を中心に、スポルクラブの現状と照らし合わせ、どのようにしたら展開が可能か見出していこうとするものである。

Ⅱ. スポルクラブの現状

スポルクラブの現状としては、2007（平成19）年に設立以来、ハイキングや登山、歩くスキーといった校外施設でなければ実施できない活動、また行事等で複数施設を使用する場合などを除き、通常のプログラムは、基本的に本研究センター内での活動となっている。地域住民向けプログラムの多くはトレーニングルームやスポルホールを、体操はジムナスホールを中心とした活動である。

2019（令和元）年度の地域住民向けのプログラム一覧は（表1）に示すとおりであり、合計20プログラムが展開されている。日曜日は実施していない。一方、体操クラブのプログラム一覧は（表2）に示すとおりであり、合計16プログラムが実施されている。それぞれ、週1回のみのプログラムから最大5回のプログラムもある。本学は実技や演習授業が多いことから、本センターを含めた、体育・スポーツ施設の使用率は、非常に高いと言える。

また、スポーツ系クラブ部活動も盛んなことから、夕方授業が開講されない時間帯においても、ほぼ夜の退館時間まで使用されているのが現状である。強いて言えば、土曜日や日曜日の午後から夕方、夜にかけては、幾分余裕があるとみられるが、これ以上、プログラムを増やすことは物理的には困難と考えられる。

Ⅲ. 他大学の事例

1. 筑波大学の事例

筑波大学では、2005（平成17）年競技スポーツの向上と発展、地域の貢献事業の発展と拡充を目的として、「つくばユナイテッド」を設立した。スポーツを通して地域社会と大学に豊で創生的な育みを提供することを理念に、体育系コーチング分野の教員を中心とした連合体である。そして、筑波大学運動部とその関係教員、そして地域住民と自治体が、スポーツによる共有間や一体感を育みながら連携していくこと目指し、Community, Communication, Collaborationの3Cをキーワードにして活動している（月刊体育施設編集部, 2005）（図1）。

筑波大学の場合は、国立大学であるが、2004（平成18）年4月に国立大学法人されたこともあり、これまで

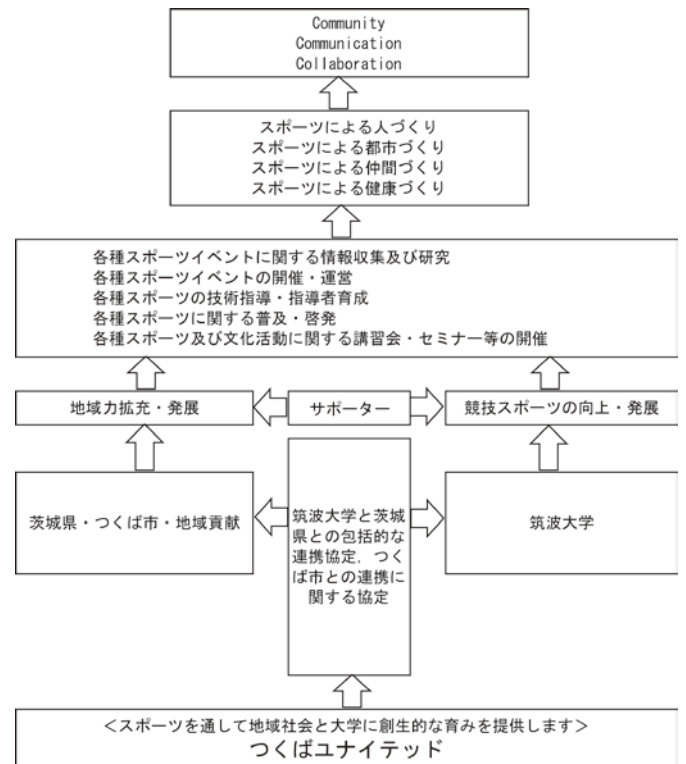


図1 つくばユナイテッドの概念図

（月刊体育施設編集部, 2005）

各運動部が個々に行っていた地域活動を一本化し、体制を整えていこうとする流れと連携が図れたことが好都合であったと言える。筑波大学は、国立大学で初めて体育専門分野を備えて創設した総合大学であり、前身である東京教育大学時代から見れば130年を超える歴史があり、体育系の歴史は1878（明治11）年の体操伝習所の設立まで遡る（月刊体育施設編集部, 2005）。東京高等師範学校時代は、柔道の創始者であり、日本にオリンピックを招致し、日本における体育・スポーツに多大なる尽力を果たした、嘉納治五郎が第7代校長を務めた。嘉納治五郎が団長として日本が初めてオリンピックに出場したストックホルム大会では、東京高等師範学校学生であった金栗四三がマラソンの代表選手として、短距離走の三島弥彦（東京帝大）とともに出場するなど、日本のスポーツ界をリードしてきたと言える。

バレーボールに関しては、つくばユナイテッドサンガイアとして活動している。Sun GAIAとは、つくばという土地が「太陽と大地」の田園都市であるということから、大自然を象徴するSun（太陽）とギリシャ語で大地の神を示すGAIAを用いていることに由来し、GAIAは、産学官民四位一体（Government, Academy, Industry, A Citizen）を合体させた名称であり、人・まち・スポーツが一体となった魅力的な社会づくりへの貢献の想いが込められている（つくばユナイテッドサンガイアHP, 2019.12閲覧）。特に、スポーツベンチャーとして、

表1 スポルクラブ(地域) 開講プログラム

2019年度北翔大学スポルクラブ地域スポーツ プログラムスケジュール

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00	18:00	19:00
月	トレーニングジム利用 10:00 - 12:00	健康からだ塾 石川 藤原 11:00-12:00		生涯スポーツ 石川 13:10-14:10				トレーニング90 17:30 - 19:00	
		スウェット!! 富士原 10:30-11:30							
火	リラックスヨガ 大上 10:00 - 11:30	水中体操 稲山 10:40 - 12:10		生涯スポーツ 富士原 13:10-14:10	ピラティス 上田 13:30 - 15:00		プログラム実施 5月7日(火) ~ 3月末迄予定 (プールプログラムは11月末迄の開講予定) ※年間開講38回を予定 (プールプログラムは26回を予定)		
		ストレッチ体操 富士原 10:30-11:30		トレーニング90 12:45 - 14:15					
	リズム体操 柳沼 10:00-11:00								
	トレーニングジム利用 10:00 - 12:00			ピラティス 上田 13:10 - 14:40					
水		楽々からだ塾 藤原 11:00-12:00 まる元(まるごと元気) 上田 11:00-12:00						トレーニングジム利用 18:00 - 20:00	
木	生涯スポーツ 10:00-11:00	ココカラヨガ 斎藤 10:00 - 11:15		水中ウォーキング 稲山 13:10 - 14:20 膝痛・腰痛体操 金子 13:10-14:10					
金	トレーニングジム利用 10:00 - 12:00	エアロビック 柳沼 10:30-11:30 ナチュラルヨガ75 大上 10:45 - 12:00 水泳水中運動StepUp 高屋敷 11:00 - 12:30		レクリエーションスポーツ 12:30 - 14:00			土	トレーニング90 河内 13:30 - 15:00	
				水泳水中運動初級 高屋敷 13:10 - 14:40					※スケジュールは大学講義行事等で変更になる場合がございますので、ご了承ください。

★が少ないプログラムは初心者向き、★が多いプログラムはカラダをたくさん動かしたい方向けのプログラムとなっております。

☆☆☆☆ 生涯スポーツ	¥2,000	簡単に無理のない運動、音楽に合わせてカラダを、動かしたり多彩な体操ではじめて運動をはじめるのにぴったりです。年齢・性別を問わず楽しめます。	☆☆☆☆ まる元(まるごと元気)	¥2,000	道内各地で好評をいただいている介護予防教室「地域まるごと元気アッププログラム」を、北翔大学でも開催!!!
☆☆☆☆ 膝痛・腰痛体操	¥2,000	足腰に不安や痛みを感じたことはありますか?関節に負担を掛けず、からだを動かしやすい体づくりをします。	☆☆☆☆ レクリエーションスポーツ	¥2,000	ニューススポーツといわれる初めての方も気軽に運動できるスポーツ種目を行う楽しいプログラムです。
☆☆☆☆ ストレッチ体操	¥2,000	毎日の生活を楽に過ごすため、動きやすいカラダ作りをしています。はじめて運動される方・運動が不安な方にぴったりです。	☆☆☆☆ スウェット!!	¥2,000	カラダを動かして汗をかきたい! 難しい動きではなく気持ちよくシンプル! ストレス・脂肪を汗と共に流しましょう!
☆☆☆☆ ピラティス	¥2,900	正しい姿勢、しなやかで柔らかい、強く美しいカラダづくりに最適なプログラムです。	☆☆☆☆ エアロビック	¥2,000	リズムに合わせてカラダを動かしていきます! 汗を流してカラダとココロを開放して脂肪燃焼・ストレス発散!
☆☆☆☆ ココカラヨガ	¥2,900	カラダが硬いとヨガはできないのでは?そんな不安な方へ、リラックスできる音楽呼吸、心地よいポーズでどなたでも参加できます。	☆☆☆☆ リズム体操	¥2,000	リズムに合わせてカラダを動かしたり、カラダをほぐすストレッチを行います。楽しくカラダを動かしたいあなたへ!
☆☆☆☆ リラックスヨガ	¥2,900	基本的なヨガのポーズを取り入れ、運動・呼吸などからリラックスを狙っていきます。肩の力を抜いて参加してみてください。	☆☆☆☆ 水中ウォーキング	¥2,900	膝や腰に負担が少ない水中で、誰でもできるウォーキングや水中体操を行います。
☆☆☆☆ ナチュラルヨガ75	¥2,900	立ちポーズも取り入れ動きがあるプログラムです。リラックスはしたいけど、カラダも少し動かしたいという方におすすめです。	☆☆☆☆ 水中体操	¥2,900	水中ウォーキングなどの体操の時間、浮具やフィンなどを使用した泳ぐ時間。プールのいいところを集めた楽しい運動です。
☆☆☆☆ 健康からだ塾	¥2,000	楽しみながら自分のカラダに興味をもてる学びながら健康なカラダ作りをするプログラムです。	☆☆☆☆ 水泳水中運動 初級	¥2,900	水泳の技術を向上したい方へおすすめです。クロール・背泳ぎの習得を目指します。
☆☆☆☆ 楽々からだ塾	¥2,000	いつまでも元気で活発にすごすため、動けるからだ作りのトレーニング・ストレッチを行います。セカンドライフを楽々過ごしましょう!	☆☆☆☆ 水泳水中運動StepUp	¥2,900	水泳の技術を向上したい方へおすすめです。StepUpでは平泳ぎ・バタフライ習得を目指します。
☆☆☆☆ トレーニング90	¥2,000	様々なトレーニングマシン・トレーニング方法を紹介していくプログラムです。男性にもおすすめです。	☆☆☆☆ トレーニングジム利用	¥2,000	個人でトレーニング室の用具を使って運動したい方におすすめです。指導員を配置していますので気軽にお声かけ下さい。

料金システム

入会事務手数料(保険料含む) 64歳以下 ¥3,850
65歳以上 ¥3,200

月会費 上記参照

※お支払頂きました料金に関しては ご返金は致しかねますのでご了承ください。

紹介割

クラブ会員の方がお知り合いの方をご紹介頂いた場合「ご紹介者ご入会者ともに1ヶ月月会費無料となります。

家族割

ご家族の方が、スポルクラブ体操地域スポーツいずれかにご入会の方は2人目以降の方は月会費初月無料となります。

ご入会に必要なもの

ゆうちょ銀行
口座・お届け印

会費納入方法は、ゆうちょ銀行口座引き落としのみとなります。
ご入会手続き当日は、保険加入の関係でご利用いただけませんので、利用開始日の4営業日前までにお手続きをお願い致します。
お問合せ先
住所: 江別市文京台23番地北翔大学内スポル ☎011-387-4762 Fax: 011-387-4763 Mail: sporm@hokusho-u.ac.jp

表2 令和元年度 北翔大学スポルクラブ（体操）開講教室

2019.4.1

	11:00	12:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
月					幼児	小学生	選抜			
						専門	中級男子/育成男子			
						ダンスエアロ	エアロ専門			
							育成女子B			
							中級女子/ 育成女子A			
							上級女子B班			
火	親子			自由	幼児		上級女子A班B班			
					小学生		上級男子			
水					幼児	専門	中級男子/育成男子			
							エアロ専門			
							上級女子A班			
							上級男子			
							育成女子A			
木					幼児	小学生	選抜			
							育成女子B			
							上級女子B班			
							上級男子			
							中級女子			
金					幼児	小学生	選抜			
						専門	中級男子/育成男子			
							育成女子B			
							上級女子A班B班			
							上級男子			
							中級女子			
							育成女子A			
土			上級女子A班B班							
			上級男子							
			育成男子							
			中級女子							
日			上級女子A班							
			上級男子							
	11:00	12:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00

2006（平成18）年6月にはNPO法人格取得，2010（平成22）年6月には，一般社団法人格を取得し，プロバレーボールチームとしての国内トップリーグ（Vリーグ）参戦はもちろん，バレーボール教室を中心に活動を行っている。ユニフォームスポンサー5社，広告スポンサー4社，バレーボール教室スポンサー1社，サプライヤースポンサー4社，協力2社，他法人会員及びシーズンパートナーとして計100社，その他ドリンクスポンサー13社（2019年度現在）と，多くの地元企業等に支えられているかたちである。

2. 早稲田大学の事例

早稲田大学では，1995（平成7）年当時文部省が実施するスポーツ振興施策のひとつとして，総合型地域スポーツクラブ構想が立ち上がった。そうした，早い時期からの取組のなかで，早稲田大学の教員が中心となり，所沢キャンパスを活動拠点として，活動が始まったものである。2000（平成12）年2月に設立した当初は，所沢西地区総合型地域スポーツクラブとし，現在は，所沢市総合型地域スポーツクラブ，通称：WASEDA Club 2000 となっている。その後，2003（平成15）年度までの9年間，地域のコミュニティの役割を担うスポーツクラブづくりに向けた先導的なモデル事業として，地域住民の自主的な運営を目指す「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」を実施してきた。

主な活動は，種目別活動，各種スポーツ教室，健康体力相談，測定，各種研修会，講演会，調査研究，会員相互の親睦を深めるために必要な事業，その他となっている（表3，4）。

2017（平成29）年度，2015（平成27）年度の総会資料によると，totoによる助成はないものの，個人や家族会費，賛助会費，事業収入で賄われ，いずれも赤字は無い。NPO法人化も申請していない。スポルクラブと比較すると，指導者謝金支出が少ない。これは，教員や大学部活動コーチや学生などがボランティアとして指導に当たっていることが大きな理由と推測できる。教室ではあるものの，教え教えられるといった一方向でなく，会員である地域住民とともに双方向な活動形態である，総合型地域スポーツクラブの趣旨を体现していると考えられる。

スポンサーについては，大口ではなく，一口1万円程度が数社ある程度であり，あくまで賛助会費としての在り方である。プロスポーツチームや年間数十，数百万円といったかたちではない。そうした費用を工面する必要もなく，会員の会費で十分やりくりできる活動であろう。しかしながら，多くの活動が大学の施設を使用していることから，使用料が抑えられることは大きいと言える。

3. 鹿屋体育大学の事例

鹿屋体育大学では，2004（平成16）年4月の国立大学法人化と共に，中期計画に大学を基盤としたスポーツクラブ事業を取り組むことを盛り込んでいる。鹿屋体育大学は，1981（昭和56）年に全国唯一国立の体育大学として開学し，健全な身体と調和・共生の精神を併せ持つ人材の育成に必要な不可欠なスポーツ・身体運動を通じて，創造性とバイタリティに富む有為の人材を輩出するとともに，体育・スポーツ学分野における学術・文化の発展と国民の健康増進に貢献し，もって健全で明るく活力に満ちた社会の形成に寄与する基本目標を掲げている（鹿屋体育大学HP，2019年12月閲覧）（図2）。

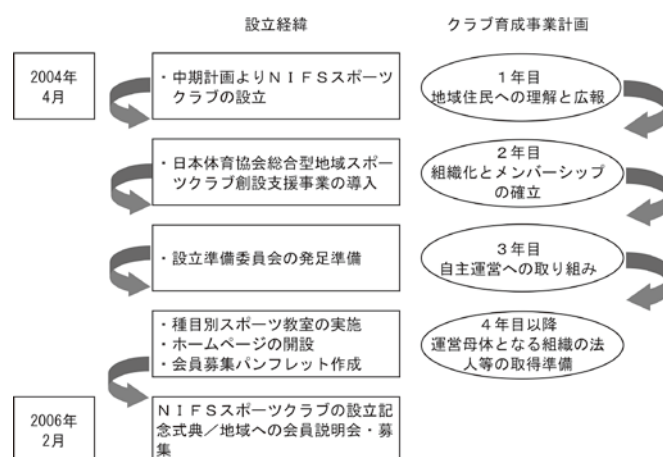


図2 NIFSスポーツクラブ設立経緯とクラブ育成事業計画（川西，2005）を元に筆者作成

大学の地元である大学名の英語表記，National Institute of Fitness and Sports in KANOYAの頭文字から，NIFSスポーツクラブと称したクラブを設立するため，学内将来計画委員会を傘下に，検討ワーキンググループを組織し，日本体育協会総合型地域スポーツクラブ育成支援事業への補助新制を実施し，採択された。年間300万円の補助を上限に2年間受けることとなり，これまで大学が実施してきた公開講座をスポーツクラブ事業として移行していった。また，補助事業の採択により，クラブマネージャーを大学院生から雇用し，大学事務局の指導のもと，事務局を組織している。実施種目は，体操教室，テニス教室，サッカー教室を中心に，年間事業として体力測定講習会，高齢者スポーツ指導者講習会，鹿児島県広域スポーツセンターとの共催による，スポーツフェスティバルとして，ニュースポーツ，ウォーキング，幼児体操を実施している（川西，2005）。2019（令和元）年現在では，これらの活動に，陸上と貯筋サークルが加わっている（NIFSスポーツクラブHP，2019年12月閲覧）。

2012（平成24）年には，NPO法人格を取得し，クラ

表3 WASEDA Club2000 一般プログラム
所沢市総合型地域スポーツクラブ2019年度活動一覧表(一般)

2019年10月1日現在

種 目	コース・対象	活動日	活動時間	活動場所	会費(半期 *1)
陸上競技	G(General)コース	日	14:30~16:30	早大陸上競技場	3,000円
	中1~高3・大学生・社会人・陸上競技専門				
	R(Runner)コース 一般ランナー	木	18:30~20:00		
		日	14:30~16:30		
テニス	<シニアコース> 週1回 1時間30分 前期:4月~7月、後期10月~12月	火	②12:30~14:00	早大 テニスコート	10,000円
		木	① 8:30~10:00 ②10:00~11:30		
		金	① 8:30~10:00 ②10:00~11:30 ③11:30~13:00		
		土	②10:00~11:30		
		日	③11:30~13:00	※空き状況をご確認ください。	12,000円
太 極 拳	クラブ・キャンパス	月	10:40~12:10	早大スポーツホール第1	5,000円
	小手指 A	火	13:00~14:30	小手指公民館・分館	
	小手指 B	火	15:00~16:30	小手指公民館・分館	
	狭山柏原A	木	19:00~20:30	狭山市・第二自治会館	
	狭山柏原B	金	13:30~15:00	柏原自治会館・水季野集会所	
	狭山台	金	10:30~12:00	狭山台4丁目自治会館	
	三ヶ島	月	15:00~16:30	三ヶ島公民館	
	東村山A	木	10:00~11:30	東村山市立廻田公民館	
	東村山B	水	19:30~21:00	東村山市立社会福祉センター	
	桜山クラブ	火	10:00~11:30	入間市農村環境改善センター	
ウォーキング	ロングコース (8キロ~10キロ)	土	10:00~	早大周辺 ※集合は早稲田大学 ※毎月第一土曜日は遠出 ウォーキングあり。 集合時間・場所は毎回変わります。	3,000円
	ゆっくりロングコース(8キロ~10キロ)				
	ミドルコース (5キロ~8キロ)		10:30~		
	ショートコース (3キロ~5キロ)				
	航空公園コース (5キロ~10キロ)	木	10:00~	航空公園 第3木曜日は遠出ウォーキングあり	
フィットネス		土	10:00~11:30	早大スポーツホール第2	6,000円
シルバー フィットネス	50歳以上	火	10:40~12:40	早大トレーニングルーム	5,000円
		木	10:40~12:40		
		土	13:00~15:00		
ミニテニス		火・金	19:30~21:30	三ヶ島地区体育館	1,800円
トランポリン	中学生以上	月 水	19:00~20:00	専用練習場	24,000円
	UFO Aコース 選手	月 火 水 木	18:00~19:20		36,000円
	UFO Bコース 選手(週2回)	月 火 水 木	18:00~20:00		60,000円
グラウンド・ゴルフ		火・金	9:00~12:00	北野総合運動場	3,000円
水 泳	成人 全6回	木	11:00~12:00	早大アクアアリーナ	12,000円

◆各種お問い合わせ先◆

*1 半期:前期4月~9月 後期10月~3月

〒359-1164 埼玉県所沢市三ヶ島3-1407-1 TEL&FAX 04-2947-3481(受付・平日12:00~16:00)

表4 WASEDA Club2000 小中学生プログラム

所沢市総合型地域スポーツクラブ2019年度活動一覧表(幼児・小中学生)

2019年10月1日現在

種 目	コース・対象		活動日	活動時間	活動場所	会費(半期 *1)
陸上競技	K(Kids)コース 小4～小6		日	14:30～16:00	早大陸上競技場	3,000円
	G(General)コース		日	14:30～16:30		
	中1～					
テ ニ ス	<ジュニアコース:小学生>		日	① 8:30～10:00 ②10:00～11:30	早大テニスコート	10,000円
体操競技	小学生 前後期 各10回		木	16:30～18:00	早大スポーツホール第2	10,000円
レスリング	小学生		日	10:00～12:00	早大スポーツホール第2	18,000円
フットサル	小学生		日	10:00～12:00	早大スポーツホール第1	6,000円
WILD359ers (ワイルドスリー フィフティー ナイナーズ)	小学生	funー土	土	12:30～14:30	三ヶ島小学校 もしくは北野総合運動場	8,000円
		フラッグス (フラッグフットボール)	土	15:00～17:00		11,000円
		funー土 & フラッグス	土	12:30～17:00		17,000円
		ダンス	木	17:30～19:00	市民体育館	10,000円
トランポリン	親子(未就学児)		水	16:00～16:55	専用練習場	36,000円
	園児 (年少から年長児)		月 火 木 金	16:00～16:55		24,000円
	園児・小学生		月 火 水 木	17:00～17:55		
				18:00～18:55		
	中学生以上		月 水	19:00～20:00		
	UFO Aコース 選手		月 火 水 木	18:00～19:20		
	UFO Bコース 選手(週2回)		月 火 水 木	18:00～20:00		60,000円
水 泳	小学生(初級)前後期 各10回		水	16:45～18:00	早大アクアアリーナ	20,000円

◆各種お問い合わせ先◆

*1 半期:前期4月～9月 後期10月～3月

〒359-1164 埼玉県所沢市三ヶ島3-1407-1 TEL&FAX 04-2947-3481(受付・平日12:00～16:00)

ブの信頼性、透明性、社会的責務を高めると共に、組織としての安定を図っている。これにより、toto（スポーツ振興くじ）の助成金を採択もあり、クラブマネージャーの給与など、大きな収入源のひとつとなっている。各教室における収支も概ね順調であり、現在はtotoによる助成はないものの、問題なく活動が継続されている。寄付金や賛助会員収入もあるものの、総収入から占める割合は10%以下にとどまり、その多くは会費や参加料である。また、大学の公開講座にも多くのスポーツ系活動が実施されている。定期的な開催でないことや九州一円から多くが参加する規模であることから、クラブの事業として実施していないものの、バレーボールやバスケットボールも非常に人気の講座である。とくにマリンスポーツやスキダイビングといった、地理や気候を活かした活動は特徴的である。

4. 札幌大学の事例

札幌大学では、2009（平成21）年3月に「札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブ（愛称：めえ〜ず）」として、総合型クラブ活動を開始し、近隣住民、学生やOB・OG、大学教員らの専門的知識提供もあり、ボランティア活動のほかに多くのスポーツ活動や文化的知識の講座を開講している。2012（平成24）年6月には、札幌大学の知的・人的・物的資源を有効活用し、これまで以上に地域に根ざすことを目的にNPO法人化された（めえ〜ずHP、2019年12月閲覧）。

主な活動内容は、札大生におしえてもらおう「いろんなスポーツ教室」、エンジョイエクササイズ、リラクセスヨガ、やさしいハタヨガといったスポーツ・運動系教室の他、トーンチャイムで癒しの音色を楽しもう、フラワーアレンジメント、お菓子作り、書道といった文化活動系教室が実施され、そのほか、認定活動団体として、札幌ジュニアFC、札幌ジュニアFCユース、札幌野球クラブ、札大ジュニアJUDOクラブ、札幌大学ダンスプロジェクト、札大X-SPORTS PROJECT、めえ〜ずはちみつプロジェクトがある。また、特別支援学級や学校に通う生徒を対象としたチャレンジ塾やトレーニングルームの開放も行われている（表5、6）。

2018（平成30）年度事業報告書によると、会員数は766名で幼児4名、小学生199名、中学生125名、高校生17名、18～64歳176名、65歳以上245名となっている。toto助成は申請していないが、会員の会費と参加料でクラブマネージャー、指導者謝金、他実費経費等が賄われ、順調な活動形態により活動が継続されている（平成30年度活動報告書、2018）。クラブマネージャーによると、NPO法人化に伴い、大学が直接運営に関わることはないが、大学施設の借用や教職員や学生による指導や補助

などの人的支援は、運営上非常に助かっているとのこと。しかしながら、それら手配等一切を1名のクラブマネージャーが行っている点は代わりがないなど、苦勞することも多いとのことであった。

Ⅳ. 考察

本報告では、大学バレーボールチームにおける地域貢献活動について、国内事例からみる「スポルクラブ」における展開の可能性を探るものである。

本学スポルクラブと国内大学における事例を一概に比較検討することは出来ないが、検討視点として大きく3つを挙げる。1つ目はNPO法人化、2つ目はスポンサーによる財源確保、3つ目は活動内容である。

1つ目のNPO法人化については、事例として取り上げた4大学のうち、3大学が法人化していた。NPO法人化のメリットについては、①社会的な信用が高まること、②賃貸借契約や融資などの契約が出来るようになること、③行政施設の管理運営受託などにふさわしいと認定されること、④toto助成金が採択されやすい等（日本スポーツ協会、2019）があげられる。本学のスポルクラブはNPO法人格がなく、申請も行っていない。上記①から④にあげたメリットを享受する需要が無いわけではない。今後は、スポーツ施設等整備事業、活動基盤強化事業、クラブマネージャー設置事業などtoto助成申請可能な項目も多く、必要に応じて行っていくことも視野に入れて良いと考える。

2つ目のスポンサーによる財源確保については、100社ほどから集めているつくばユニテッド以外は、数社の賛助会員や寄付であった。つくばユニテッドサンガイアが国内トップリーグで活躍していくためには、相当の費用が必要であることは明白で、それらを実施していない他3大学については、基本的には、会員の会費で収支が賄えるものである。その大きな理由としては、大学を拠点としていることである。総合型地域スポーツクラブで大きな課題である拠点施設の確保が、いずれもクリア出来ているといえる。もちろん、大学である以上、国立であっても私立であっても、学生のための施設であることから、使用時間帯の制限はある。しかし、各クラブの目的や理念からみると大学の地域貢献と大学のもつ知的・人的・物的資源を大学と地域双方のメリットがもたらされるかたちとなっている点は、一般公共施設や公立小中学校施設を使用する点とは大きく異なる点である。

3つ目の活動内容については、対象者やそれに伴う活動内容がどうかを注目したい。いずれの大学においても、子どもに対する教室（スクール）活動であり、大人が対象であれば高齢者であることが多い。高齢者で

表5 札幌大学スポーツ・文化総合型クラブ プログラム 表

特定非営利活動(NPO)法人



2020年1月

札幌大学スポーツ・文化総合型クラブ


申込・問い合わせはめえ〜ず事務局まで

月〜金 10:00〜16:00

TEL 011-852-9722

講座名	開催日/時間		場所	対象	申込期日
トレーニングルーム開放 ※開放利用前は「トレーニング ルーム利用初回講習会」の受講が 必要です。	■11,25(土) 14:00~20:00 ■12,13,26(日・祝) 10:00~16:00 ■18,19 使用不可		第1体育館 トレーニングルーム	高校生以上	不要
フラワーアレンジ 講師：荻野 愛美	21(火)	11:00~12:30	1号館2階 第5会議室	成人男女 【定員20名】	要申込 1/14
【材料費】 21日(1,500円) アレンジメント 【持ち物】 花ばさみ,ホチキス,持ち帰り袋 【欠席連絡】 必要 ※申込締め切り前までをお願いします					
リリシズムフラワー 講師：隆 陽子	16(木)	13:00~14:30	1号館2階 1212教室	成人男女 【先着10名】	要申込 1/8
【材料費】 1,500円+新規参加者花器代800円 【持ち物】 花ばさみ,花器,持ち帰り袋,筆記用具 【欠席連絡】 必要					
トーンチャイムで 癒しの音色を楽しもう 講師：小野寺 みゆき 	16,30(木)	13:00~14:00	1号館2階 第5会議室	成人男女 【定員10名】	要申込 1/8
	10,24(金)	①13:00~14:00 ②14:10~15:10			要申込 ①②12/23
	【楽器使用料】 月/300円 【欠席連絡】 必要 【体験】 1度のみ可能				
お菓子作り教室 (5回シリーズ) 講師：永澤 多永	11(土)	10:00~11:30	Stove	4年生以上男女 【定員12名】	〆切
	☆人気の5回シリーズは5回まとめたの申込みとなります。☆ ①11/16 リンゴのケーキ ②12/7 和菓子 ③1/11 チョコレートケーキ ④2/15 クッキー ⑤3/7 スコーン ※内容は変更になる場合があります。 【持ち物】 エプロン、おてふき、メモ、お持ち帰り用の袋をご用意ください 【欠席連絡】 必要 				
チャレンジド塾 講師：松野毅彦 (札幌大学教授) ボランティアスタッフ	スポーツ塾 (土)		第二体育館 10:00~12:00	6~18歳 特別支援学級・ 学校の生徒	問合せ先 松野研修室 TEL852-9693
	学習塾 11(土)		S-wing (図書館1階) 10:00~11:30		

表6 札幌大学スポーツ・文化総合型クラブ プログラム 裏

講座名		開催日	時間	場所	対象	申込/期日	
トレーニングルーム利用 初回講習会 講師：			10:00～11:00	第1体育館 トレーニング ルーム	高校生以上 【先着10名】	要申込 開講3日前まで	
書道教室 講師：吉見 奎鳳		20(月)	17:30～19:00	1号館地下 1001教室	中学生以上 【定員15名】	要申込 1/10	
【持ち物】筆 すずり 書道用下敷き 文鎮 【欠席連絡】不要 【体験】1度のみ可能							
ラッピング合わせ包み のし紙の掛け方 しきたりの基礎知識 講師：三浦 アキ子				13:30～15:00	1号館2階 第5会議室	成人男女 【先着10名】	要申込 1/8
15(水) 【材料費】300円 【欠席連絡】必要							
ハタラジャヨガ 講師：工藤 牧子		6,20,27(月)	①17:30～18:30	2号館2階 めえ～ず 多目的室	成人男女 【定員30名】	要申込 12/19	
			②18:45～19:45				
エンジョイエクササイズ 講師：西田 道代		7,14,21,28(火)	19:15～20:00	2号館2階 めえ～ず 多目的室	成人男女 【定員25名】	要申込 12/20	
初めてピラティス 講師：Mikuni 受講料 500円		23(木)	13:30～14:30	2号館2階 めえ～ず 多目的室	成人男女 【定員25名】	要申込 1/16	
1 2 講 座 か ら 1 講 座 選 択 制 と な り ま す	2アップ・ 2ダウン教室 講師：平野	月①	6,20(月)	9:40～10:40	2号館2階 めえ～ず 多目的室	成人男女 各コース 【定員30名】 ※申込多数の 場合、抽選	要申込 12/19 ※毎月 申込制
		月②		11:00～12:00			
	リラックスヨガ 火①② 講師：Moe	火①	7,14,21,28(火)	9:40～10:30			
		火②		10:50～11:40			
	火③ 講師：Mikuni	火③	7,14,21,28(火)	13:30～14:30			
	水①②③ 講師：BOW	水①	8,15,22,29(水)	10:10～11:10			
		水②		11:30～12:30			
		水③		13:30～14:30			
	木①② 講師：TOMOMI	木①	9,23,30 (木)	9:30～10:30			
		木②		10:50～11:50			
	はじめてヨガ	木初		12:10～13:10			
	金①② 講師：進藤 晶子	金①	10,17,24,31(金)	9:30～10:30			
		金②		10:45～11:45			

あれば、自ずと健康維持・増進を目的とした活動内容であることが多い。一般的なフィットネスクラブやスポーツクラブでは、主に20代から60代までの生産年齢世代会員の多くは、平日の昼間は仕事のためクラブに行くことは出来ない。どうしても、仕事が終わった夕方以降、夜遅い時間帯となってしまう。大学拠点であれば、こうした時間帯は、部活動が実施されており、且つ、いずれの大学においても体育会系部活動が盛んな大学であるため、活動時間や活動人数も多く、総合型クラブ会員向けに施設使用はあまり期待できない。強いて言えば、大学の講義や実技がない土日や体育会系部活動練習がオフの平日夕方から夜が使用できる時間帯である。ただし、20代から60代までの生産年齢世代が、大学を拠点とする総合型地域スポーツクラブの目的や理念を理解し、一般的なフィットネスクラブやスポーツクラブのようなかたちではない活動内容のニーズがあれば、プログラムや教室開設の必要性も認められるが、大学バレーボールチームの地域貢献を考えると、やはり、小中学生が対象となってくるのではないかと考えられる。

V. まとめ

現在、大学を拠点として展開している総合型地域スポーツクラブは、年々数多くなっている。その理由は緒言で述べたとおりであるが、大学バレーボールチームの地域貢献を考えると、バレーボールが教室やスクールとして成立する風土も醸成されなければならない。国内事例として取り上げた4大学では、つくばユナイテッドサンガイアが教室として実施しているのみである。鹿屋体育大学では大学の公開講座として展開しており、定期的な実施ではない。全国全ての大学を拠点としたクラブを網羅していないため、正確では無いものの、個人競技である体操や水泳、柔道や剣道といった競技においては、かなり昔から教室やスクールの活動が実施されている。しかし、団体競技では、少年野球のような活動は昔からあるものの、近年のJリーグ発足後目覚ましい活躍を遂げた、サッカーがここ20年で定着させた様相である。

北海道内において、国内トップリーグに所属するバレーボールチームは2つあり、旭川を拠点としたヴォレアス北海道と、札幌を拠点としたサフィールヴァ北海道である。Vリーグにおいては、Jリーグのように規約において選手育成を要件として条件付けてはいない。あくまで、下部組織なり選手育成活動を積極的に推進するとしている程度である。サフィールバ北海道においては、アカデミーとしてU-15、U-12カテゴリーを設置し、指導者も配置している。少年団や中学校にバレーボール部がない、あるいはバレーボール部はあるが指導者がいなく、

人数も少なく活動もままならないなど、そうした受け皿になっている面も見受けられるが、こうしたかたちのいわゆるJリーグのアンダーカテゴリーのチームのような活動が、バレーボールにおいても増えてくると予想され、また、我々がそうした風土醸成をリードしていかなければならない。

本学を活動拠点とすれば、本学施設使用の制約はある程度仕方がない。やはり本学部活動実施中に、3面分のバレーボールコートが確保できるなかで融通するか、また、土日の午後あるいは夕方の時間帯で活動するか、あるいは、平日週1日のオフ日を活用していくか、となっていくであろう。そうすると、近隣の小中学生が対象となり、遠方から通うことも考えられるが、親などによる送迎が必要となり、また、冬季積雪期間中にあっては、困難も伴う。本学所有のバスは複数台あるとしても、運転手の確保、事故に対する保険など、さらに課題も多い。一方、学生を指導者として派遣し、指導者バンク的なかたちを取ることも想定できる。この場合は、指導者である学生の移動手段を確保することが必要となる。また、借用施設の申請や手続きなど学生指導者に任せられない仕事や経費も増えてくるであろう。

最後に、本学スポルクラブもここ数年は大きな変化もなく、安定的に継続した事業が展開できている。しかしながら、解決すべき問題や課題も多く山積していることも明らかである。今後、事業を拡大するというイメージではなく、見直し、改善していくなかで、スポルクラブの在り方、本学の北方圏生涯スポーツ研究センターを拠点としていること、また大学の地域貢献から、総合的な見地から検討していくことが求められる。本稿では大学バレーボールチームを主とした検討であったが、本学には100名を超える部員を有する硬式野球部、サッカー部、陸上部などが存在し、体育会に所属をする部員は2018(平成30)年度の集計によると526名にのぼっている。本学のスポーツ教育学科はもちろんであるが、教育学科においても小学校の教員を養成し、こども学科においては、幼稚園教諭や保育士を養成している。これらの学生が青少年の体力向上や健康増進のために、スポーツ活動指導に当たることは教育上非常に有益である。これらのことも含め、本学として、スポルクラブとして展開の可能性についてさらに追及していくものである。

付 記

本研究は、2019(令和元)年度北方圏生涯スポーツ研究センター・センター選定事業として実施した。申告すべき利益相反はない。

引用文献

- 1) 月刊体育施設編集部：筑波大学/つくばユナイテッド—幅広い知識と人材を武器として地域に貢献しつつ学内も活性化，特集大学発地域と協働するスポーツ組織—専門性を生かした地域貢献，月刊体育施設，34 (12)，10-13，2005.
- 2) 川西正志：鹿屋体育大学/NIFSスポーツクラブ—エリートスポーツと健康づくりの一貫専門指導体制構築を目指して，特集大学発地域と協働するスポーツ組織—専門性を生かした地域貢献，月刊体育施設，34 (12)，22-25，2005.
- 3) 國本明德・正見こずえ・松本耕二他：大学を拠点とする総合型地域スポーツクラブの会員に関する一考察—いきいき大東スポーツクラブのケーススタディ—，大阪産業大学人間環境論集，11，37-52，2012.
- 4) 永谷稔・工藤憲：バレーボールを通じた学生指導者の地域貢献活動について—札幌市A区体育館における初心者小学生指導活動から—，北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報，7，165-170，2016.
- 5) 永谷稔：バレーボールを通じた学生指導者の地域貢献活動について，—クラブチームにおける初心者カテゴリー指導活動から—，北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報，9，97-102，2018.
- 6) 文部科学省：大学と総合型地域スポーツクラブの連携等について，文部科学省生涯スポーツ課資料，2009.
- 7) 日本スポーツ協会：公認アシスタントマネージャー養成テキスト第2章 4) NPO法人格取得手続き，日本スポーツ協会，第3版，33，2019.
- 8) NPO法人NIFSスポーツクラブHP：<http://www.nifs-sc.or.jp/zaimu> (2019年12月30日閲覧)
- 9) 札幌大学スポーツ・文化総合型クラブ：平成30年度活動報告書，2018.
- 10) 札幌大学スポーツ・文化総合型クラブめえ〜ずHP：<http://npo-meez.com> (2019年12月30日閲覧)
- 11) 所沢市総合型地域スポーツクラブWASEDA Club 2000 HP：<http://club2000waseda.com/index.html> (2019年12月30日閲覧)
- 12) つくばユナイテッドサンガイアHP：<https://www.tuvb.jp> (2019年12月30日閲覧)
- 13) 行實鉄平：大学と総合型地域スポーツクラブの連携に関する研究—K大学生の組織コミットメントに着目して—，久留米大学健康・スポーツ科学センター研究紀要，16，25-36，2008.